

世田谷区



防災

街づくり

基本方針

地震に強いまちを目指して

世田谷区

## 2. 防災街づくりの基本的な考え方

基本理念を実現するため、以下に4つの目標を示すとともに、防災街づくりの進め方についての基本的な考え方を示します。

### (1) 基本理念を実現するための4つの目標

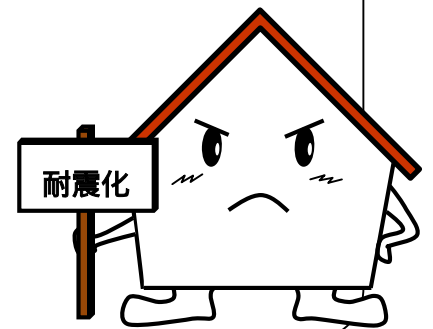
#### 目標 揺れに強いまちをつくる

- ・ 建築物の耐震化を促進し、揺れによる建築物の被害・損傷を未然に防ぎます。
- ・ 家具の転倒防止対策等を促進し、住宅内の安全性の向上を目指します。
- ・ がけ地等は、宅地造成時の指導や、危険の周知等により土砂災害による被害軽減に努めます。

#### 耐震化の目標(世田谷区耐震改修促進計画)

耐震率の現状と目標(一覧)

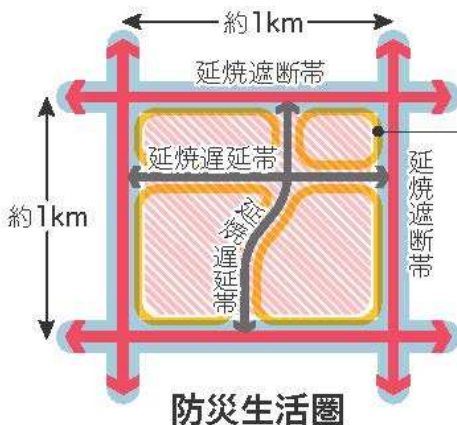
建築物の分類	耐震化率	
	現状 平成27年度末	目標 平成32年度末
住宅	87.0%	95%
民間特定建築物	82.2%	95%
防災上重要な区公共建築物	100%	-



#### 目標 火災に強いまちをつくる

- ・ 延焼遮断帯に囲まれた防災生活圏の形成により、大規模な市街地火災の防止を目指します。
- ・ 延焼遅延帯に囲まれたミニ防災生活圏の形成により、防災生活圏内部の火災の延焼抑制および避難の安全性の向上を目指します。
- ・ 建築物の不燃化を図るとともに、消防活動に資する道路および消防水利の整備を進め、防災生活圏内部の火災に対する安全性の向上を目指します。
- ・ 家屋内の出火を抑制し、火災の発生そのものの減少を目指します。

#### 防災生活圏とミニ防災生活圏のイメージ



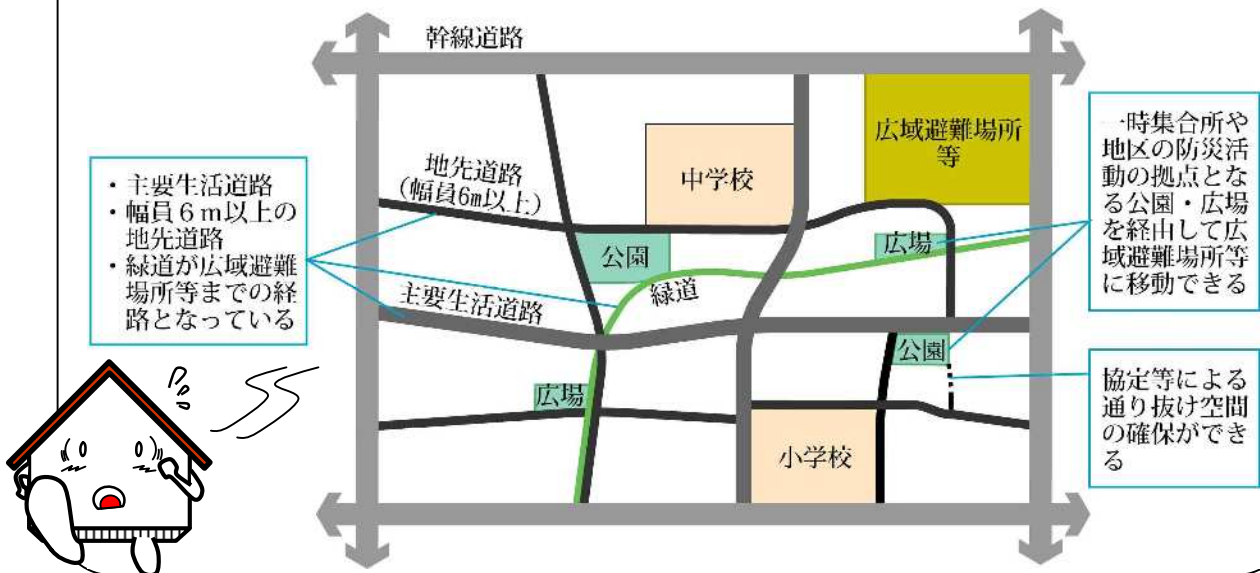
**ミニ防災生活圏**  
 防災生活圏内にある主要生活道路や緑道などの空間に囲われたほぼ500m四方の区画



(都市整備方針第一部「都市整備の基本方針」より)

## 目標 安全に避難できるまちをつくる

- ・ 区民や区内滞留者が利用できる広域避難場所等が確保されたまちを目指します。
- ・ 広域避難場所の周辺建築物の不燃化等を促進し、広域避難場所等の安全性が更に確保されたまちを目指します。
- ・ 広域避難場所等までの安全な経路が確保されたまちを目指します。



## 目標 迅速で効果的な災害対応ができるまちをつくる

- ・ 災害対策拠点等の防災性の向上、緊急輸送道路や避難および物資輸送等に重要な道路・橋梁等の計画的な整備・改修により、迅速な災害対応ができるまちを目指します。

